

牧之原市菊川市学校組合教育委員会 会議録

令和4年3月23日、牧之原市菊川市学校組合教育委員会が牧之原市役所相良庁舎会議室に招集された。

この委員会に付議するため、委員長の告示した議案は次のとおりである。

付議議案

議案第7号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
協議 「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」について

出席委員

1番 橋本 勝	事務局	教育文化部長	内山卓也
2番 近江賢市		学校教育課長	杉田雅良
3番 松浦啓二		社会教育課長	八木康仁
4番 山内麻千子		スポーツ推進課長	大石昌秀
5番 八木香代子		教育総務課長	水野敬子
		教育総務課主幹	榛葉円香

開会時刻 午前9時30分 牧之原市役所相良庁舎3階庁議室

開会（教育総務課長）

教育長挨拶

ようやくコロナ感染者も減少に転じ、国の蔓延防止等重点措置も解除されたことで、様々な活動が再開に向けて動き出した。

昨年同様、コロナ禍で学校教育、社会教育、スポーツ推進に関する多くの制限が重くのしかかった一年だったが、先週、各学校とも卒業式、修了式を終え、令和3年度を無事に締めることができた。

国外では、ロシア軍によるウクライナ侵攻が、出口が見えない泥沼の状態へと突入した。連日テレビから流れる映像を見て、皆が心を痛めているのではないか。一刻も早い停戦、平和の日々が戻ることを祈る。

さて、この一年をかけて、牧之原市としての学校再編計画案作成に取り組んできたが、パブリックコメント等からの意見を反映させた最終計画案が出来上がった。今回の計画には牧之原小中学校は対象外ということになったが、学組教育委員の皆様には、計画案の内容理解と共に、今後の牧小中の教育についてなど、様々な点からご意見などをいただきたいと思う。

令和3年度も残すところ約一週間。4月からは新しい組織、新たな人員で、スター

トを切る。また、市役所教育文化部には、新たな組織、「学校再編推進室」ができる。コロナ感染を乗り越え、市民目線に立った事業等を推進し、飛躍の年にしたい。教育委員の皆様には、この一年、様々な点で御支援・ご協力いただき、感謝申し上げます。(ありがとうございました)

会議録署名人の決定(事務局より指名)

橋本教育長と松浦委員を指名

教育長報告

令和4年2月14日から令和4年3月23日までの主な行事について報告があった。

議事(進行:教育長)

議案第7号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

(事務局より説明)

1件の申請について、質疑応答後、承認された。

近江委員 実家に住む場合は、児童扶養手当はもらえないか。

事務局 世帯の所得や世帯状況に応じて、子ども子育て課で判定している。一定所得を上回るともらえない。

協議 「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」について

(教育文化部長・教育総務課長より説明)

教育委員 現場の先生方は、アンケートもとられているが、この計画について前向きに受け止められているか。市がやるからという受け身なのか、感触はどうか。

学校教育課長 若い先生方は、義務教育学校について前向きにとらえ、小中のすり合わせが必要、ロードマップを早く示してほしいなどという意見が多い。ベテランの先生は、中には新しいことへの不安が強い先生もいるので、丁寧な説明が必要と考える。小学校のみ、中学校のみの免許しかない先生方の免許制度や、組織づくりについて、勉強していかないとならないと感じている。

教育委員 パブコメの意見の中に、学校現場の先生の意見だと思うが、受け身になってしまうと書かれている。その下に、風は内側から巻き起こさないとならないと書いている。大事な意見。

教育長 先生方は、不安も期待もあるというところ。今回の協議

は、一番確認したいのは、教育のあり方、環境を整えようという中で、牧小中は再編に含めないということへの意見を伺いたい。

これで、話し合いは終了ということではなく、今後も議論を深めていくが、ここで一旦整理されるため、確認したい。

教育委員

菊川市の立場でいうと、菊川市はこれから議論していく状況であり、急な話で困ってしまう。牧之原市側の保護者の方は、置き去りにしないでという意見もあるとは思いますが、菊川市側の方針が出て、考える時間を与えてもらえたことはありがたい。もう少し、PTAや地域へしっかりと理解してもらえる、知らなかったと言われぬように時間をいただきたい。それから、学校ができる頃に間に合うならそういう含みも考えられる。

再編した学校の教育が良いとは思いますが、何にせよ時間が欲しい。

教育長

今度の市の教育委員会で計画が認められれば、次へ進んでいく。その進んでいく中で、組合の学校を考える時間がある。

教育委員

もう、今回で組合の子どもたちは入れないということでは、困る。将来は入れるように考えてほしい。

教育委員

菊川市と牧之原市の関係性は、菊川市の教育委員会や市長には伝わっていたが、住民には上手く伝わっていない。今後もそのままの体制でいられるのかも心配である。菊川市が主体で、話をしてもらうような姿勢でやることが本来であり、牧之原市側と菊川側の情報格差もある。

御前崎中学校の地域も、御前崎、白羽にも情報のアナウンスがあったのか、思うところはあったのではないかと想像する。

教育長

御前崎市の教育委員会は随時情報提供してきたが、今後学校組合の学校については、御前崎市、菊川市と協議をしていく必要がある。牧之原市の学校2校については進めていく中で情報提供していくが、この教育委員会では意見を言えない状況になる。学組教育委員会として、牧小中の教育をどう充実させていくかの議論に変わっていく。地元の方の意見を聞いて、再編の対象外とした。

教育委員 牧小中をこれからどうしていきたいか、保護者として考えるところはある。小学校にも意見を聞いてくれるのはいいことだと思う。

なぜ、1クラスが35人なのか？33人のクラスの先生は大変そうに見え、25人くらいが適正ではないかと思う。小学校の先生は、丸つけも自分でやる先生は、スクールサポーター頼むより自分でやっている。

教育総務課長 文部科学省、静岡県で35人と決められている。30人になるという話もあるが、これは未定。

学校教育課長 現在は、静岡県は前倒しで35人学級となっている。定数は決まっているため、級外の先生のいない学校が増えた。1学年が36人なら、18人と18人になる。市独自ではできない。今後少子化で30人学級になれば、教員も人数が減れば余裕も生まれるとは思う。

教育長 定数というのは、教員が配当されるというもの。財務省の問題、級外の先生、加配が減少して、教頭先生がクラスに入るしかない学校も多い。

教育文化部長 少人数学級が良くないというわけではなく、次代を切り拓く力をつけるためには、様々な意見を聞くなどが必要ということで、1学年3学級を目指すもの。

小さな学校での少人数で9年間の学びと、ある程度の規模の学校での学びのどちらがよいのかということはどうしてもメリット、デメリットはある。計画では、あるべき姿を示したもの。

委員の言うように、考える時間をもらえたといわれたが、学校開校までは8年ある。しかし、来年度から基本構想でどういう学校にしたいかを考える。この基本構想に牧小中の想いを入れるならここから入ってほしいが、高台の状況や菊川市の動向を見てからというのであれば、開校前や開校後でも入ることは可能。しかし、再編ではなく、編入という形になってしまう。

今後、地域の人の想いを聞いていけるように、議論は継続していくべきと考える。いつまでに決めるのかは言えない。

教育長 牧小中をどう教育を行っていくのかは議論していく。

教育委員 小学6年生が16人だということにショックだったが、清水の小学校が廃校になったニュースでは、6年生が5

人程度だった。どのくらいになると廃校になるのか。近所に住宅が建てられているので、今後牧之原市の学校に組み込むのはいつか。

学校教育課長 たまたま、6年生が少なく、新小1は31人、2年生25人、3年生26人、4年生29人、5年生38人、6年生29人、中学校1年生16人、2年生23人、3年生26人と予定しています。

教育文化部長 今までは、複式学級になる場合には、統廃合を検討するという形だったため、片浜小学校は統合になった。

教育長 複式学級がだめというわけではないが、へき地では必要があり、今は少子化でそういう地域もある。牧小中が、そうなることではない。

教育文化部長 計画の3ページの推計では、地区ごとにある。今の時点で、どうなるかの判断は難しい。計画は5年ごととか、定期的な見直しは必要。校舎の老朽化や、財政負担についても考えなければならない。いつまでというのは、難しい。

教育委員 パブコメの意見には、意見が真っ二つに分かれており、難しいが、総合教育会議でも話したが、少子化が進めば再編に入るかもしれないことは、反対の方にも伝えておく必要があると思う。

教育文化部長 高台開発を人口増加のためにやっているのだから、市として施策の効果も見なければならない。意見も分かれているので、議論は続けていく必要がある。

教育総務課
総括主任 牧小中の子どもは、減ってはいない。委員の意見を聞いていて、判断基準を定める必要がある場合には教育委員会での協議をお願いしたい。

教育委員 今の学区は変えることは、難しいか。他の学区から通う場合は、特殊な場合か。

学校教育課長 引っ越しや、特別な事情がある場合のみ区域外就学を認めている。自由選択制はやっていない。

教育委員 萩間は縦に長いので、バス通学をするなら、相良中学校までよりも牧之原中学校のほうが通学費も安くすむ。現在の相良中学校への通学路が津波や川の近くを通るのは怖い。そのために引っ越しする親もいる。

教育文化部長 今の学区は難しいが、再編後の学校は津波浸水区域外に

する。

教育長 都会での自由選択制は、いいことも悪いこともある。萩間の子が牧中へ通うのか、新しい学校へ行きたいのかも意見が分かれると思う。

教育委員 牧小中の教育を、義務教育学校を先行実施して、新しい学校に生かしていく方向で実現してほしい。

教育長 今の研究指定校になり、すばらしい取組みを続けてほしいと思う。

教育委員 再編計画の考え方を牧小中でも、やってほしい。ハードの面は同じようにできるのかは疑問。小中一貫は、6年、3年の節目を親としては見たい気持ちもある。先生方は、どちらがやりやすいのかを聞きたい。

教育委員 牧小中でも、できる範囲でやっていただきたい。

教育委員 子どもが心配にならないように、体制の切替時にはどうしても、負担はある。先生方も、不安があると思うので同じ環境でしてあげるべきではないか。

教育長 この件については、牧小中は取り残されたと思われないう、菊川市、保護者と相談しながら、定例会で議論していきたい。

閉会（閉会時刻 午前 11 時 20 分）